

ル方法ヲ講ゼテレタイト云フ希望ガアッタニ對シマシテ、其ノ後本年ニ至リマス迄、當局ハ如何ナル用意改善ヲセラレタカ、ト云

稅法外二十九法律中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長二荒伯爵

所得稅法外二十九法律中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

貴族院議長伯爵松平頼壽殿
委員長伯爵二荒芳徳

所得稅法外二十九法律中改正法律案ニ付キ
マシテ、委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致
シマス、本委員會ハ去月三十一日及二月一
日、二日、三日、四日ノ五日間ニ亘リマシ

テ、頗る詳細ニ審議ヲ續行致シ、去ル四日正午ヲ以テ討論ヲ終リ、採決ノ結果、本法案ハ可決スベキモノト決定ヲ致シタノデアリマス、本委員會ニ付託セラレマシタ法案

ノ骨子ハ、戰局ノ苛烈化ニ伴フ臨時軍事費ヲ中心トスル財政需要ノ膨脹ニ對處致シマシテ、極力租稅收入ノ増加ヲ圖リ、以テ戰時財政ノ基礎ヲ鞏固ナラシメマスト共ニ、

現下ニ於ケル經濟情勢等ニ顧ミシテ、購買力ノ吸收、消費ノ抑制ヲ圖リ、之ニ依ツテ決戦下ニ於ケル國民生活ヲ確保致シツ、物資、勞力、資金等凡ソ國家經濟ノ總力ヲ舉

要ナル措置ヲ執ツノデアリマス、即チ臨時軍事費ノ財源ノ一部ニ充テル爲、所得稅等ノ直接稅ヲ中心ト致シマシテ、增稅ヲ行フト共ニ、併セテ生産ノ増強、產業ノ再編成、片諸ノ軍事費等、既存下重要ナレ莖旨者文宣

賄賂者ノ引取等ノ遂行上必要トスル租稅上ノ措置ヲ講ジタモノデアリマス、又國民所得權成ノ時局ニ因ル變動ニ伴ヒマシテ、之が適正課稅ノ方

法ヲ講ジ、官民相互ノ手數ヲ簡便ナラシメ
マス爲、稅制及賦課徵收ノ制度ノ全般ニ亘

リマシテ、極力之ガ簡素化フ圖リマシテ、
同時ニ又課稅ノ適正充實ヲ期スル爲、必要
ナ改正ヲ行ヒマシタモノデアリマス、案ノ
ケル説明ニ相似タモノガゴザイマスノデ、
茲ニハ之ニ言及ヲ致シマセ又、今主ナル質
問ノ條項ニ付キマシテ御報告ヲ致シタイト
存ジマス、或ル委員カラハ、根本ノ問題ニ
付キマシテ、次ノヤウナ質問ガゴザイマシ
タ、即チ戰局ノ苛烈化ニ伴ヒマシテ、將來
我ガ國ノ財政ノ需要ハ一層増大スルモノト
見ラレルガ、今次增稅ノ方針、又將來ニ於
ケル財政等ニ付テハドウ云フ見解、見透シ
ヲ持テ居ルカ、其ノ場合ニ於テ新ラシイ種
ヲ創設スルト云フ御考ガアルカドウカ、ト
云フノニ對シマシテ、政府カラハ、大東亞
戰爭が決戦段階ニ突入致シマシタ今日ニ於
テ、國庫收入ノ増加ヲ圖ルト共ニ、消費ノ
節約、購買力ノ吸收ニ資スル爲ニ、經濟情
勢其ノ他各般ノ見地カラシテ、今回ノ增稅
ヲ滴當キ認メタ次第アルガ、戰局ノ進展
推移ニ依テ、將來ノ財政需要が相當又增加
スルモノトスレバ、更ニ增稅ヲ必要トスル
情勢モ考ヘナケレバナルマイト思フ、增稅
ニ當ツテハ、一面經濟情勢、又國民ノ擔稅力
ニ慎重ナル檢討ヲシナケレバナラナイカラ、
今之ヲ具體的ニ述ブルコトハ困難デアル、
ト云フ答辯デゴザイマシタ、尙之ニ附加ヘ
マジテ、政府ト致シマシテ、皇國ノ興隆、
東亞民族解放ノ企圖ヲ持ツ所ノ大聖戰下ニ
於テ、皇國民デナケレバ發揮ノ出來ナイ偉
大ナ精神力ノ昂揚ガアル、此ノ必勝ノ信念
ノ牢乎タル見地ニ基イテ、他方精神力ノ力
物價政策ニ付テ質問ガゴザイマシタ、之ニ
強イモノヲ見返リツ、財政上ニ慎重ナル者
盧ヲ拂ツテ施策ヲシタイト思フ、ト云フ答辯
デゴザイマシタ、更ニ他ノ一委員カラ、低
付キマシテハ、所謂新興所得階級ノ擔稅力

ニ付テモ言及セラレマシタガ、速記ヲ止メ
マシテ懇談ヲ致シマシタ次第アリマス、
更ニ相續税ノコト、並ニ都民税、市民税ヲ
基礎トシテ多クノ公課負擔ヲ國民ニナセ
ルト云フコトハ不合理デアル、ト云フ質問
ニ對シマシテハ、此ノ委員會ノ最後ニ於キ
マシテ各委員カラ希望ヲ述ベラレマシタノ
デアリマス、其ノ方ニ譲リマシテ十分御謝
告ヲ致シタイト存ズル次第アリマス、又
他ノ一委員カラハ、一般國民生活ノ限界ト
シテノ所謂生活線ト云フモノハドノ邊ニ求
メルカ、ト云フ質問ガアリマシタノニ對シ
テ、政府ハ之ニ答ヘマシテ、一言以テ蔽シ
盡シ難イ問題デアルガ、少クモ各人ノ健康ヲ
保全シ、第一ノ國民ノ教養遂行ニ缺クル所
ナキ點ヲ考慮シテ、衣食住ノ問題ヲ確保ス
テキモノデアルト云フ答辯ガゴザイマシタ、
更ニ二三ノ委員カラ、中堅階級ガ實ニ日本
興隆ノ基礎デアル、然ルニ若シ是ガ滅亡シ、
或ハ衰退スルト云フコトデアルナラバ、國
家ノ前途ニ對シテ甚ダ憂フベキモノガアル、
政府ハ之ニ對シテ如何ナル對策ヲ有スルカ、
ト云フ質問ガゴザイマシタ、之ニ政府ハ答
ヘマンシテ、個人トシテ如何ニ收入アリトス
ルモ、其ノ生活ハ、今日ニ於テハ人々各々が最
少限度ニ生活シ、而シテ其ノ餘剩ハ擧ゲテ
國家ノ爲ニ奉仕セシムベキガ當然デアル、
此ノ觀點ノ徹底ニ付テハ、目下一層其ノ者
ヘ方ヲ徹底セシムル必要ガアル、尙中間階
級ガ没落スル虞アリトスル觀方ハ、一面ニ大
イニ警戒スベキ問題デアルガ、他ノ一面カラ
見ルナラバ、此ノ中間階級ガ此ノ大戦ヲレ
ドモ、今日ニ於テハ、斯カル方面ニ於キ
契機トシテ育成セラレツ、アル現狀ヲモ者
ヘナケレバナラナイ、即チ嘗テハ農村等ニ
於テ、非常ナ農村ノ貧困ヲ招致シテ居ツタケ
況デアル、ト云フ答辯ゴザイマシタ、次
ニ又他ノ委員カラ、戰時生産計畫ノ昂揚ニ

付テ、創意工夫ヲ豊カニシテ資材産出ニ努力スルヤウ、政府ニ希望セラレル所ガアリマシタ、政府ト致シマシテハ、資材ノ效率ヲ最大限ニ發揮スルコトハ、單ニ經濟問題タルノミナラズ、精神問題トシテ、最モ強ク叡智ヲ働カシ、意力ヲ十分ニ強メテ、技能、管理兩方面ニ充實シタ效果ヲ擧ゲルヤウニ努力スベキヂアリ、而シテ之ヲ激励シテ居ルト云フ答辯デゴザイマシタ、更ニ他ノ委員ハ、我が國ノ過去及現在ノ稅法ヲ回顾シテ見レバ、曾テハ資本主義ノ色彩ヲ帶ビタ稅法デアッテ、現在ニ於テハ稍々無產的傾向ニ類スル稅法デハナイカト思ハル、節ガアル、中產者、小產者ガ無產トナル場合ハ、甚ダ憂慮スベキコトガ國家ノ前途ニ豫想セラレルト思フ、之ニ對スル方策如何、之ニ對シマシテ政府ハ、所謂國民總テ皆勞致シ、總テガ勤勞ヲ致シマシテ、サウシテ人々ノ職能ヲ通シテ最善ニ働くヤウニ仕向ケナケレバナラナイ、若シ斯クノ如ク各人ガ其ノ職域ニ於テ最善ヲ盡スナラバ、中間階級ノ消滅ト云フヤウナコトハ寧ロ少クナルノデハナイカト思ハレル、ト云フ答辯ニ對シマシテ、更ニ其ノ委員カラ、其ノ方面ノ觀方ハ非常ニ樂觀ノ方面ヲ強調セラレテ居ルヤウデアルガ、尙然ラザル方面モ多々アルガ故ニ、十分其ノ抱負ノ徹底方ニ對シテ注意ラシテ貰ヒタイ、斯ウ云フ希望ガゴザイマシタ、次ニ又他ノ委員カラ、強調貯蓄ノ質問ガゴザイマシテ、法律ヲ以て貯蓄ヲ強制スル點ニ付テハ、當局ト致シマシテハ未ダ今日考ヘテ居ラナイ、デ專ラ國民性ノ優秀ナルニ懇ヘテ、忠勇至誠ノ念ヲ以テ出來得ル限り自發の貯蓄ヲ獎勵シテ居ル、斯ウ云フ説明デゴザイマシタ、其ノ他法人稅ニ付キマシテモ、又相續稅ニ付キマシテモ、更ニ物品稅ニ付キマシテモ、或ハ遊興飲食稅、又地方財政ノ諸問題ニ付テモ、企國債利子及山林所得ニ對スル課稅問題、企

業整備ニ依ツテ轉用シタル所ノ設備ニ對スル減價償却ノ問題、酒稅、砂糖消費稅等ニ關スル質問、又海外企業ニ對スル課稅問題等ニ付キマシテ質問ガゴザイマシタガ、此ノ點ニ付テハ時間ノ關係モゴザイマスノデ、暫ク茲ニ御報告申スコトヲ差控ヘタイト存ジマス、最モ重大ナ問題ト致シマシテ、各委員ガ關心ヲ持チ、又議論ノ中心ニナリマシタノハ、所得稅法中改正法律案ノ第八十二條ニ附加スルト云フ問題デゴザイマス、即チ所得稅法ノ第八十二條第二項ノ規定シテ見レバ、會テハ資本主義ノ色彩ヲ帶ビタ稅法デアッテ、現在ニ於テハ稍々無產的傾向ニ類スル稅法デハナイカト思ハル、節ガアル、中產者、小產者ガ無產トナル場合ハ、甚ダ憂慮スベキコトガ國家ノ前途ニ豫想セラレルト思フ、之ニ對スル方策如何、之ニ對シマシテ政府ハ、所謂國民總テ皆勞致シ、總テガ勤勞ヲ致シマシテ、サウシテ人々ノ職能ヲ通シテ最善ニ働くヤウニ仕向ケナケレバナラナイ、若シ斯クノ如ク各人ガ其ノ職域ニ於テ最善ヲ盡スナラバ、中間階級ノ消滅ト云フヤウナコトハ寧ロ少クナルノデハナイカト思ハレル、ト云フ答辯ニ對シマシテ、更ニ其ノ委員カラ、其ノ方面ノ觀方ハ非常ニ樂觀ノ方面ヲ強調セラレテ居ルヤウデアルガ、尙然ラザル方面モ多々アルガ故ニ、十分其ノ抱負ノ徹底方ニ對シテ注意ラシテ貰ヒタイ、斯ウ云フ希望ガゴザイマシタ、次ニ又他ノ委員カラ、強調貯蓄ノ質問ガゴザイマシテ、法律ヲ以て貯蓄ヲ強制スル點ニ付テハ、當局ト致シマシテハ未ダ今日考ヘテ居ラナイ、デ專ラ國民性ノ優秀ナルニ懇ヘテ、忠勇至誠ノ念ヲ以テ出來得ル限り自發の貯蓄ヲ獎勵シテ居ル、斯ウ云フ説明デゴザイマシタ、其ノ他法人稅ニ付キマシテモ、又相續稅ニ付キマシテモ、更ニ物品稅ニ付キマシテモ、或ハ遊興飲食稅、又地方財政ノ諸問題ニ付テモ、企國債利子及山林所得ニ對スル課稅問題、企

業整備ニ依ツテ轉用シタル所ノ設備ニ對スル減價償却ノ問題、酒稅、砂糖消費稅等ニ關スル質問、又海外企業ニ對スル課稅問題等ニ付キマシテ質問ガゴザイマシタガ、此ノ點ニ付テハ時間ノ關係モゴザイマスノデ、暫ク茲ニ御報告申スコトヲ差控ヘタイト存ジマス、最モ重大ナ問題ト致シマシテ、各委員ガ關心ヲ持チ、又議論ノ中心ニナリマシタノハ、所得稅法中改正法律案ノ第八十二條ニ附加スルト云フ問題デゴザイマス、即チ所得稅法ノ第八十二條第二項ノ規定シテ見レバ、會テハ資本主義ノ色彩ヲ帶ビタ稅法デアッテ、現在ニ於テハ稍々無產的傾向ニ類スル稅法デハナイカト思ハル、節ガアル、中產者、小產者ガ無產トナル場合ハ、甚ダ憂慮スベキコトガ國家ノ前途ニ豫想セラレルト思フ、之ニ對スル方策如何、之ニ對シマシテ政府ハ、所謂國民總テ皆勞致シ、總テガ勤勞ヲ致シマシテ、サウシテ人々ノ職能ヲ通シテ最善ニ働くヤウニ仕向ケナケレバナラナイ、若シ斯クノ如ク各人ガ其ノ職域ニ於テ最善ヲ盡スナラバ、中間階級ノ消滅ト云フヤウナコトハ寧ロ少クナルノデハナイカト思ハレル、ト云フ答辯ニ對シマシテ、更ニ其ノ委員カラ、其ノ方面ノ觀方ハ非常ニ樂觀ノ方面ヲ強調セラレテ居ルヤウデアルガ、尙然ラザル方面モ多々アルガ故ニ、十分其ノ抱負ノ徹底方ニ對シテ注意ラシテ貰ヒタイ、斯ウ云フ希望ガゴザイマシタ、次ニ又他ノ委員カラ、強調貯蓄ノ質問ガゴザイマシテ、法律ヲ以て貯蓄ヲ強制スル點ニ付テハ、當局ト致シマシテハ未ダ今日考ヘテ居ラナイ、デ專ラ國民性ノ優秀ナルニ懇ヘテ、忠勇至誠ノ念ヲ以テ出來得ル限り自發の貯蓄ヲ獎勵シテ居ル、斯ウ云フ説明デゴザイマシタ、其ノ他法人稅ニ付キマシテモ、又相續稅ニ付キマシテモ、或ハ遊興飲食稅、又地方財政ノ諸問題ニ付テモ、企國債利子及山林所得ニ對スル課稅問題、企

業整備ニ依ツテ轉用シタル所ノ設備ニ對スル減價償却ノ問題、酒稅、砂糖消費稅等ニ關スル質問、又海外企業ニ對スル課稅問題等ニ付キマシテ質問ガゴザイマシタガ、此ノ點ニ付テハ時間ノ關係モゴザイマスノデ、暫ク茲ニ御報告申スコトヲ差控ヘタイト存ジマス、最モ重大ナ問題ト致シマシテ、各委員ガ關心ヲ持チ、又議論ノ中心ニナリマシタノハ、所得稅法中改正法律案ノ第八十二條ニ附加スルト云フ問題デゴザイマス、即チ所得稅法ノ第八十二條第二項ノ規定シテ見レバ、會テハ資本主義ノ色彩ヲ帶ビタ稅法デアッテ、現在ニ於テハ稍々無產的傾向ニ類スル稅法デハナイカト思ハル、節ガアル、中產者、小產者ガ無產トナル場合ハ、甚ダ憂慮スベキコトガ國家ノ前途ニ豫想セラレルト思フ、之ニ對スル方策如何、之ニ對シマシテ政府ハ、所謂國民總テ皆勞致シ、總テガ勤勞ヲ致シマシテ、サウシテ人々ノ職能ヲ通シテ最善ニ働くヤウニ仕向ケナケレバナラナイ、若シ斯クノ如ク各人ガ其ノ職域ニ於テ最善ヲ盡スナラバ、中間階級ノ消滅ト云フヤウナコトハ寧ロ少クナルノデハナイカト思ハレル、ト云フ答辯ニ對シマシテ、更ニ其ノ委員カラ、其ノ方面ノ觀方ハ非常ニ樂觀ノ方面ヲ強調セラレテ居ルヤウデアルガ、尙然ラザル方面モ多々アルガ故ニ、十分其ノ抱負ノ徹底方ニ對シテ注意ラシテ貰ヒタイ、斯ウ云フ希望ガゴザイマシタ、次ニ又他ノ委員カラ、強調貯蓄ノ質問ガゴザイマシテ、法律ヲ以て貯蓄ヲ強制スル點ニ付テハ、當局ト致シマシテハ未ダ今日考ヘテ居ラナイ、デ專ラ國民性ノ優秀ナルニ懇ヘテ、忠勇至誠ノ念ヲ以テ出來得ル限り自發の貯蓄ヲ獎勵シテ居ル、斯ウ云フ説明デゴザイマシタ、其ノ他法人稅ニ付キマシテモ、又相續稅ニ付キマシテモ、或ハ遊興飲食稅、又地方財政ノ諸問題ニ付テモ、企國債利子及山林所得ニ對スル課稅問題、企

シ、納稅團體ノ組織ガ實情ニ適セザル爲ニ
却テ不便不確實ナル結果ヲ誘致スルガ如キ

コトハ之無キヤウ十分ニ指導監督スル考デ
アル、トノ答辯ガゴザイマシタ、斯ク致シ
マシテ質問ヲ終了致シ、討論ニ入ッタノデア

リマス、一委員ヨリハ、今次ノ増稅ハ相當
多額デアルガ、決戰下ニ於ケル現下ノ情勢
トシテハ誠ニ已ムヲ得ザルモノデアル、國

民ハ喜ンデ之ガ負擔ニ任ズルト思フ、併シ
ナガラ各方面ニ與フル影響モ著シキモノガ
アルト認メラレルガ故ニ、其ノ實施ニ付テ
ハ、圓滿ニシテ適正ナル施行ニ付特ニ留意
セラレムコトヲ希望スル旨ノ意見開陳ガゴ
ザイマシタ、之ヲ以チマシテ討論ヲ終リマ
シテ、採決ニ入リマシタガ、全會一致フ以
チマシテ原案通り可決確定致シマシタ次第
デアリマス、以上簡單デアリマスガ、御報
告ヲ終リマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 別ニ御發言モナ
ケレバ、本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第
二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌ
カ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 本案ノ第三讀會
ヲ開キマス、本案全部、第二讀會ノ決議通
リデ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 別ニ御發言モナ
ケレバ、本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第
二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌ
カ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 直チニ本案ノ第一讀
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 賛成

○議長(伯爵松平頼壽君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平頼壽君) 本案ノ第二讀會
ヲ開キマス、御異議ガナケレバ、全部ヲ問
題ニ供シマス、本案全部、委員長ノ報告通
リテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平頼壽君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 本案ノ第三讀會
ヲ開キマス、本案全部、第二讀會ノ決議通
リデ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 日程第八、大日
本育英會法案、日程第九、青年學校教育費國
庫補助法中改正法律案、日程第十、公立學
校職員年功加俸國庫補助法中改正法律案、
政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員
長報告、是等ノ三案ヲ一括シテ議題ト爲ス

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス、委員長野村子爵

○議長(伯爵松平頼壽君) 大日本育英會法案
有可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和十九年二月三日

委員長 予爵野村 益三

貴族院議長伯爵松平頼壽殿

青年學校教育費國庫補助法中改正法律
案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和十九年二月三日 委員長 予爵野村 益三

貴族院議長伯爵松平頼壽殿

公立學校職員年功加俸國庫補助法中改
正法律案

昭和十九年二月三日 委員長 予爵野村 益三

貴族院議長伯爵松平頼壽殿

〔予爵野村益三君演壇ニ登ル〕

○子爵野村益三君 大日本育英會法案外二
件ニ付テ御報告ヲ申上ゲマス、先づ以テ大
日本育英會法案ニ付テ申上ゲマス、本法案
ガ過日上程セラレマンシタ際ニ、文部大臣ヨ
リ、育英施設ノ緊要ナルコト、本施設ハ朝
野ノ切ナル要望ニ依リシコト、是ニハ國家
的施設ノ加ヘラルベキコト、本法人即チ大
日本育英會ハ特別法ニ依ル特殊法人タルコ
ト等ニ付キマシテ、大體ノ御説明ガゴザイ
マシタ、茲ニ本法案三十八箇條ヲ涌覽致シ
テ見マスルト、第一條ニハ、大日本育英會
ノ目的トシテ、優秀ナル學徒ニシテ經濟的
理由ニ因リ修學困難ナルモノニ對シテ學資
ノ貸與、其ノ他之が育英上必要ナル業務ヲ
行ヒ、斯クシテ國家有用ノ人材ヲ育成スル
コトヲ目的トス、斯様ニ規定シテゴザイマ
シテ、學資ノ貸與、學資ノ貸與ヲ受ケル
學徒即チ所謂獎學生ノ輔導、修學上必要ナ
ス、其ノ第十六條ニハ、本會ノ業務ヲ述べ
マシテ、學資ノ貸與、學資ノ貸與ヲ受ケル
業務ト云コトヲ規定シテゴザイマス、
金デアリマスガ、此ノ資金ハ大藏省預金部
ヨリ借入ル、コト、其ノ他又寄附金ヲモ受
入ル、コトヲ得ル、又第二十七條ニ於キマ
リマス、勿論女子ノ獎學生ノ數ハ誠ニ寥々

シテハ、借入金ノ中二億七千四百萬圓ヲ限
度トシテ、政府ハ、元本ノ償還竝ニ利息ノ
支拂ニ付保證スルコトヲ得ルコト、又第二
十八條ニ於キマシテハ、貸與金竝ニ學資ノ
返還金中、是ハ又貸與金トシテ用ヒラル、
ノデアリマスルガ、其ノ返還金中ノ一定額

スル補助金ヲ交付スルコト、其ノ上ニ毎年
豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付スルコト
ノ出來得ルヤウニ規定ガシニゴザイマス、
其ノ他第十二條ヨリ第十六條ニ於テハ、職員
ニ關スルコト竝ニ監督ニ關スルコトヲ規定
セラレ、而シテ尙第二十九條、第三十條ニ於
件ニ付テ御報告ヲ申上ゲマス、先づ以テ大
日本育英會法案ニ付テ申上ゲマス、本法案
ガ過日上程セラレマンシタ際ニ、文部大臣ヨ
リ、育英施設ノ緊要ナルコト、本施設ハ朝
野ノ切ナル要望ニ依リシコト、是ニハ國家
的施設ノ加ヘラルベキコト、本法人即チ大
日本育英會ハ特別法ニ依ル特殊法人タルコ
ト等ニ付キマシテ、大體ノ御説明ガゴザイ
マシタ、茲ニ本法案三十八箇條ヲ涌覽致シ
テ見マスルト、第一條ニハ、大日本育英會
ノ目的トシテ、優秀ナル學徒ニシテ經濟的
理由ニ因リ修學困難ナルモノニ對シテ學資
ノ貸與、其ノ他之が育英上必要ナル業務ヲ
行ヒ、斯クシテ國家有用ノ人材ヲ育成スル
コトヲ目的トス、斯様ニ規定シテゴザイマ
シテ、學資ノ貸與、學資ノ貸與ヲ受ケル
學徒即チ所謂獎學生ノ輔導、修學上必要ナ
ス、其ノ第十六條ニハ、本會ノ業務ヲ述べ
マシテ、學資ノ貸與、學資ノ貸與ヲ受ケル
業務ト云コトヲ規定シテゴザイマス、
金デアリマスガ、此ノ資金ハ大藏省預金部
ヨリ借入ル、コト、其ノ他又寄附金ヲモ受
入ル、コトヲ得ル、又第二十七條ニ於キマ
リマス、勿論女子ノ獎學生ノ數ハ誠ニ寥々

シテハ、借入金ノ中二億七千四百萬圓ヲ限
度トシテ、政府ハ、元本ノ償還竝ニ利息ノ
支拂ニ付保證スルコトヲ得ルコト、又第二
十八條ニ於キマシテハ、貸與金竝ニ學資ノ
返還金中、是ハ又貸與金トシテ用ヒラル、
ノデアリマスルガ、其ノ返還金中ノ一定額

スル補助金ヲ交付スルコト、其ノ上ニ毎年
豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付スルコト
ノ出來得ルヤウニ規定ガシニゴザイマス、
其ノ他第十二條ヨリ第十六條ニ於テハ、職員
ニ關スルコト竝ニ監督ニ關スルコトヲ規定
セラレ、而シテ尙第二十九條、第三十條ニ於
件ニ付テ御報告ヲ申上ゲマス、先づ以テ大
日本育英會法案ニ付テ申上ゲマス、本法案
ガ過日上程セラレマンシタ際ニ、文部大臣ヨ
リ、育英施設ノ緊要ナルコト、本施設ハ朝
野ノ切ナル要望ニ依リシコト、是ニハ國家
的施設ノ加ヘラルベキコト、本法人即チ大
日本育英會ハ特別法ニ依ル特殊法人タルコ
ト等ニ付キマスルト、第一條ニハ、大日本育英會
ノ目的トシテ、優秀ナル學徒ニシテ經濟的
理由ニ因リ修學困難ナルモノニ對シテ學資
ノ貸與、其ノ他之が育英上必要ナル業務ヲ
行ヒ、斯クシテ國家有用ノ人材ヲ育成スル
コトヲ目的トス、斯様ニ規定シテゴザイマ
シテ、學資ノ貸與、學資ノ貸與ヲ受ケル
學徒即チ所謂獎學生ノ輔導、修學上必要ナ
ス、其ノ第十六條ニハ、本會ノ業務ヲ述べ
マシテ、學資ノ貸與、學資ノ貸與ヲ受ケル
業務ト云コトヲ規定シテゴザイマス、
金デアリマスガ、此ノ資金ハ大藏省預金部
ヨリ借入ル、コト、其ノ他又寄附金ヲモ受
入ル、コトヲ得ル、又第二十七條ニ於キマ
リマス、勿論女子ノ獎學生ノ數ハ誠ニ寥々

タルモノニアリマス、斯様ナ状態ノ育英事業ニ付テ茲數年來ノ趨勢ハ如何、大體ノ趨勢ト申シマスト、出願者モ採用者モ等シク減少ノ傾向ニアリマス、此ノコトハ、一ツハ基本金ニ對スル收入ノ減少ト云フコトモアリマセウシ、又ツニハ景氣ノ好キ爲ニ貸給費ヲ申出ル者モ以前程デハナイト云フヤウナ事情モアルト思ハレマス、次ニ第一條ニ規定シテアリマスル「優秀ナル學徒」ト云フ其ノ「優秀」ト云フ意義デアリマス、是ハ所謂天才トカ俊才トカ云フ意味デハナクテ、品行ハ方正、志操堅實、身體ハ強健、而シテ學術優秀ナルモノト云フコトヲ條件トスルモノデアッテ、總ジテ本事業ノ都合好ク行ハル、ニハ、所謂獎學生ノ素質如何ト云フコトガ重要ナル根柢ヲ成スガ故ニ、之ガ素質ニハ深キ注意ヲ拂フコトハ最モ肝腎ノコトデアリマス、然ラバ所謂「修學困難」ト云はモーツノ標準ニハナリマセウ、茲ニハ左様ナ嚴重ナル規定ハ設ケマセス、須ク實情ニ適シ且裕リノアル方法ニ依リタイ、即チ全ウセシムルト云フ見解ノ下ニ、其ノ子弟實際上修學困難ナルモノノ外ニ、相當ノ身分デアッテモ子女ガ多ク從ツテ學資ノ支出ニ苦シム向キニ對シマシテモ、子弟ノ教育ヲ生徒ニ對シテハ、在學學校長ヨリ推薦セシメ、之ヲ地方推薦委員會ニ於テ銓衡シ、又之ヲ中央ノ推薦委員會ニ移シ、結局理事長ニ於テ之ヲ決定スル、高等程度ノ學徒ニ付テハ、學校長ノ推薦セル者ノ中ヨリ中央ニ於テ銓衡決定ヲスル、尚獎學生ノ範圍及び其ノ數ハ如何、之ニ付キマシテハ、各種中等學校、男女子專門學校、高等學校、大學豫科、各大學ニ及シ、勿論私立ニモ及ブノデアリ

マス、而シテ獎學生ノ豫定數ハ、十九年度
ヨリ年々一萬人、此ノ内譯ヲ申シマスト、
中等學校ニ於テ六千人、專門學校ニ於テ千五百
百、高等學校及大學豫科ニ於テ千三百、大
學ニ於キマシテ千二百人、但シ此ノ中等學
校ノ六千人ト申シマスル中ニハ、前ニ申上
ゲマシタ趣旨ニ依リマシテ、其ノ中ノ一千名ハ
兄弟多ク進學困難ナル者ノ數ヲ見込ンダモ
ノデアリマス、尙此ノ以上ノ計算中ニ、特ニ
女子ノ數ハ計上致シマセヌガ、以上ノ數ハ
相當ノ餘裕ヲ存スルモノデアリマスカラ、
之ニ依ッテ相當數ノ女子ノ獎學生ヲモ得ベ
キ積リデアル、尙獎學生タル者ハ、内地ニ
在學セル外地人ヲモ包括スル、進ンデ獎學
生ノ選擇ノ容易ナラザルコト、貸費ノ休止、
返還金ノ滯納、返還金ノ督促、返還金ノ免
除等々ニ付キマシテハ、從來育英事業關係
者ノ最モ頭腦ヲ惱マシタ點デアリマス、殊
ニ之ニ加フルニ、其ノ素行、學業及思想ニ
對スル監督、其ノ監督モ一般的デ且公平ニ
行屆カシムルト云フコトハ、是亦ナカヽノ
難事デアリマス、斯ウ云フ點ニ付テドウ云
フ風ナ取扱ヲセラル、カ、之ニ對シマシテ
ハ、死亡、返還不能、又返還困難ニ對シテ
ハ、本法案ニ補償ノ制アルガ如ク、可ナリ
ノ裕リヲ有シテ居リマス、本法案ニハ之ニ
關スル嚴重ナ所謂法的ノ規定ハ特ニ定メマ
セヌケレドモ、之ヲ獎學生ノ側ヨリ言フナ
ラバ、最モ眞面目ノ意向ト眞劍ナ態度ヲ以
テ考フベキモノト思ヒマス、而シテ當事者
ハ斯様ニ指導ヲ致シタイ、即チ斯クセシム
ルコトハ理事者ノ態度、即チ茲ニ所謂輔導
力ニ俟ツベキモノト考ヘル、最モ貸費ニ
付キマシテハ保證人ヲ立ツル皆デアリマス、
尙素行、學業、思想上ノ監督ニ付テハ、學校
當局トモ協調、協力ヲ致シテ、常住坐臥萬
事所謂親心ヲ以テ獎學生ニ臨ム積リデアル
但シ是等ノコトガ十二分ニ實行セラル、ヤ
否ヤト云フコトハ、尙今後ノ工夫ニ俟ツベ

キモノモ多クアリマセウ、要ハ最初ノ出发、即チ銓衡ノ能ク行ハル、カ否ヤト云フ及ビ高等学校竝ニ大學豫科ノ學生ハ六百圓、大學ノ學生ニハ八百圓、斯様ナ規定デアリマシテ、十九年度カラ始メテ、年々一萬人ヅ、四十箇年、即チ昭和五十七年度ニ至リマシテハ、人數ニシテ累計約一十九萬餘人、貸費總額トシテハ三億六千四百萬圓ナル額ニ達スルノデアリマス、尙返還期限ハ二十五箇年、之ニ五箇年ヲ据置キ得ルヤウニシテアリマス、次ノ質疑デアリマス第十六條中ニアル「修學上必要ナル施設ノ設置及經營」茲ニ申シマスル「必要ナル施設」ト云ノフノハ如何ナルモノデアルカ、既ニ論者ノ申ニハ、育英會ノ仕事ハ貸費ノミニ限ルベシトノ意見モアリマス、サリナガラ其ノ外ト申セバ、例ヘバ宿舍デアルトカ圖書館デアルトカ食堂デアルトカ、或ハ食事ノ配給デアルトカ云フヤウナモノモアリマセウ、假令是等ノモノニ手ヲ染ムルト致シマシテモ、之ヲ獎學生ノミニ限定スルト云フコトハ如何デアラウカ、之ニ對シマシテハ、目下ノ所、即チ暫定的ニアル所ノ大日本育英會ノコトデアリマス、其ノ方面ニモ寄附金ハ相當ニゴザイマス、將來トテモ相當數ハリマセヌ、斯様ナ説明ニ對シテ、寄宿制ヲ確立スベキモノデアルト云フ御主張、貸費ヨリモ寧ロ給費、即チ渡シ切リデアリマス、デアツテ、目下必然的ニ行フト云フノデハアリマセヌ、斯様ナ場合ヲ豫想、アラウト思ハレルノデ、斯様ナ場合ヲ豫想、貸費ヨリモ寧ロ給費制ニナスベシト云フ論、尙本會ノ組織ノ中ニ勤勞作業ノ厲行ト云フコトヲ織り込ンデハ如何カト云フ御希望モアタノデアリマス、尙本會ノ如キ國家的意義ヲ含ミ且教育的ニ經營セラルベキ法人ニ

付テハ、民間ノ寄付、助力ヲ恃ミトスルト云フコトハ好マシカラヌ、寄付ノ獎勵ノ如キハナザエルニルカズ、尙定款ヲ作成サルル場合ニ當ツテハ、本會ノ尊嚴ヲ維持スル爲ニ總裁ヲ戴クヤウニ考究アリタイ、此ノ他類似ノ名稱ニ關スルコト等ニモ言及サレタノデアリマスガ、獎學生ノ範圍ヲ擴張シテ、青年學校ノ生徒ニモ、又之ヲ外地ニ迄モ及ボシタイ等ノ御話モアリマシタ、斯様ニ質疑應答ガ進ンテ、結局現在團體ニ對スル處置如何ト云フ質疑ニ到達致シタノデアリマス、由來現在ノ團體ニハ、或ハ舊藩主トノ關係、或ハ鄉友ニ對スル因縁等ヨリ成ツテ而モ十數年又數十年ノ沿革ヲ有シ、傳統的ニ發達シ來タレルモノガ多イ、而モ斯カルモノノ數年來ノ趨勢ヲ見ルト、事業ハ漸ク縮小ノ憂キ目ヲ見ツ、アルノデアリマス、斯カル所ニ本會ノ設立ヲ見テ、貸費額ハ多イ、親身ノ世話モスル、又多人數ノ獎學生ニスル、而モ其ノ多數ノ獎學生ハ、從來動モスレバ肩身ノ狹イ思ヒヲシタニ引換ヘ、團體ノ處分ハ如何ニスベキカ、尙又其ノ傳統的價値ヲ如何ニスベキカ、是ノコトハ等シク關係者ノ心配スル所デアル、之ニ對シマシテ當局ハ、學校直營ノモノハ自然ニ本會ニ合流スルカ、若シクハ解消スルコトニナリマセウ、一般的ノモノ、又個人經營ノモノニシテ合流ヲ望ムモノハ、之ヲ歡迎致シマス、其ノ然ラザルモノニ付テハ、出來得ルダケ事業上ノ連絡聯繫ヲ圖ル積リデアル、尙又由緒アリ傳統的沿革ヲ有スルモノニ付テハ益、其ノ特色ヲ發揮サレテ愈、イノデアリマス、以上ノ答辯ニ對シテ、現

在及ビ殘存團體ニ對シテハ、宜シク速力ニ當事者ヲ招集シテ能ク政府ノ意ノアル所ヲ示シ、是等ヲシテ安心セシムルヤウニナセレタイト云フ、切實ナル希望ガ開陳サレマシタ、次ニ最モ重要ナル質疑ト考ヘラル事項ヲ御報告申上ゲマス、其ノ一つハ、本來育英事業ハ財團法人タルコトヲ以テ足レリトスル、從來又斯クノ如クニシテ經營セラレ、又發達モ爲シ來タノデアル、然ルニ今之ヲ特ニ法律ヲ以テ制定致シ、而モ民法ノ公益法人ニモ非ラズ、寧ロ公法人ニ近キ特殊法人タラシメル理由ハ如何、且殆ド公法人タルベキ性質ヲ有スル本會ニ臨ムニ罰則ノ規定ト云フモノヲ設ケタノハ、或ハ検討ノ不十分ナリシニ非ズヤ、之ニ對シマシテ、第一ニハ基金、資金ヲ確保スルコト、第二ニ長期ニ瓦ル貸借關係ヲ見、第三ニ六國庫ヨリノ利子補給アルコト、之ヲ要スルニ本事業ハ國家的事業ノ性格ヲ帶ブルガ爲、法律ヲ以テ制定シタルモノニアリマス、尙罰則ニ附シタルニ對シテハ、或ハ私法人タルノ色彩濃厚デアツテ云々ト云論モアラムカナレドモ、是トテモ各種公法人ニ加ヘラタル程度ノモノニアリマス、又此ノ程度ノ罰則ヲ附シタルバトテ、本會ノ趣旨ヲ損失モノデモナケレバ、尙本事業監督上寧ロ必要デアルト考ヘルノデアル云々、其ノ二ハ、本會事業ノ如ク最モ嚴肅ニシテ且最モ普遍的ナルモノハ、宜シク國家自ラ之ヲ經營スベキモノデアル、之ニ對シマシテハ、學資ノ貸付ニハ給費ト貨費トガアリマス、給費即チ與ヘ切リノモノデアルナラバ國家直營デ事足ルモ、本育英事業ニ付テノ考ヘ方ハ、元元子弟ノ教育ハ親ノ義務、其ノ義務ノ完成サレナイモノニ國家が助成ヲスル、親ハ子ヲ育テルト云フ根本精神ニ立脚シタモノ、親ノ力ノ足ラザル所ヲ國家が之ヲ助成スルト云フコトヲ建前トシテ、從テ特別ノ機關ニ依ルヲ適當ト致シタノデアル、其ノ上ニ

給費ニ非ズシテ貸費制ヲ採タルコトハ、第一、本事業ハ多數三十萬ニモ達スルモノヲ對象トシテ而モ長期ニ瓦ルモノデアルカラ、返還滯納等ノ事情ハ少ナカラズ複雜多岐ナルモノガアル、斯ウ云フモノヲ取扱フ點、第二ニハ、死亡者ニ關スル保險計算、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘテ見ルト、法人ノ方ガ工合ガ宜シイ、要スルニ國家ガ直接ニ必要トスル軍人ノ養成ノ如キハ、是ハ格別、一般子女ノ教育ハ親ノ資力ニ依ルヲ本體トシテ、親ノ資力ノ及バザルモノニ國家之ヲ援助スト云フ、建前ニ依リ、且彼ノ所謂頭腦ノ國家管理ト云フガ如キ嫌ヒヲ避ケタント云フコトヲモ考慮シタノデアル云々、以上ハ大日本育英會法案ニ付テノ質疑應答ノ大略デアリマスルガ、是ト併託セラレタ二法案中、從來職員ニ對スル諸給與中、俸給及年功加俸等ガ毎年豫算ノ範圍内ニ於一部ガ國庫ヨリ支出セラレタニ、其ノ俸給ニ付キマシテハ國庫ハ市町村ニ、又其ノ年功加俸ニ付テハ之ヲ都道府縣ニソレバ、補助シテ參タノデアリマス、ソレヲ今回ハ、其ノ俸給、年功加俸及諸給與ノ中ヲ、都道府縣ノ負擔ニ移スコトニ相成ダタノデアリマス、斯様ニ致スノデアリマス、仍テ國民學校ノ例ニ倣シテ、是等ノ爲ニ都道府縣ニ於テ要スル經費ノ半額ヲ國庫ヨリ補助スルコトニ致ス、是ガ青年學校教育費國庫補助法ノ改正デアリマス、斯ク致シマスルト、公立學校職員年功加俸國庫補助法ノ中ヨリ、青年學校職員ヲ取除クコト、是ハ當然デアリ、又今般ノ青年學校教育費國庫補助法ノ改正デアリマス、斯ク致シマスルト、公立學校職員年功加俸國庫補助法ノ中ヨリ、青年學校職員ヲ取除クコト、是ハ當然デアリマス、斯ク致シマスルト、公立學校職員年功加俸國庫補助法ノ中ヨリ、

垣ニ地方財政上ノ見地ヨリ企圖サレタルモノデアリマス、青年學校ノ教育ハ近時大ナル發達ヲ爲シ來リマシテ、其ノ數モ二萬ニ近ク、教職員モ二十餘萬、生徒ノ數モ數百萬、經費モ莫大、但シ之ニ對スル補助金モニ關スル質疑ハ、斯様ナ狀態デアルガ、更ニ必要トスル軍人ノ養成ノ如キハ、是ハ格別、一般子女ノ教育ハ親ノ資力ニ依ルヲ本體トシテ、親ノ資力ノ及バザルモノニ國家之ヲ援助スト云フ、建前ニ依リ、且彼ノ所謂頭腦ノ國家管理ト云フガ如キ嫌ヒヲ避ケタント云フコトヲモ考慮シタノデアル云々、以上ハ大日本育英會法案ニ付テノ質疑應答ノ大略デアリマスルガ、是ト併託セラレタ二法案中、從來職員ニ對スル諸給與中、俸給及年功加俸等ガ毎年豫算ノ範圍内ニ於一部ガ國庫ヨリ支出セラレタニ、其ノ俸給ニ付キマシテハ國庫ハ市町村ニ、又其ノ年功加俸ニ付テハ之ヲ都道府縣ニソレバ、補助シテ參タノデアリマス、ソレヲ今回ハ、其ノ俸給、年功加俸及諸給與ノ中ヲ、都道府縣ノ負擔ニ移スコトニ相成ダタノデアリマス、斯様ニ致スノデアリマス、仍テ國民學校ノ例ニ倣シテ、是等ノ爲ニ都道府縣ニ於テ要スル經費ノ半額ヲ國庫ヨリ補助スルコトニ致ス、是ガ青年學校教育費國庫補助法ノ改正デアリマス、斯ク致シマスルト、公立學校職員年功加俸國庫補助法ノ中ヨリ、青年學校職員ヲ取除クコト、是ハ當然デアリマス、斯ク致シマスルト、公立學校職員年功加俸國庫補助法ノ中ヨリ、

垣ニ地方財政上ノ見地ヨリ企圖サレタルモノデアリマス、青年學校ノ教育ハ近時大ナル發達ヲ爲シ來リマシテ、其ノ數モ二萬ニ近ク、教職員モ二十餘萬、生徒ノ數モ數百萬、經費モ莫大、但シ之ニ對スル補助金モニ關スル質疑ハ、斯様ナ狀態デアルガ、更ニ必要トスル軍人ノ養成ノ如キハ、是ハ格別、一般子女ノ教育ハ親ノ資力ニ依ルヲ本體トシテ、親ノ資力ノ及バザルモノニ國家之ヲ援助スト云フ、建前ニ依リ、且彼ノ所謂頭腦ノ國家管理ト云フガ如キ嫌ヒヲ避ケタント云フコトヲモ考慮シタノデアル云々、以上ハ大日本育英會法案ニ付テノ質疑應答ノ大略デアリマスルガ、是ト併託セラレタ二法案中、從來職員ニ對スル諸給與中、俸給及年功加俸等ガ毎年豫算ノ範圍内ニ於一部ガ國庫ヨリ支出セラレタニ、其ノ俸給ニ付キマシテハ國庫ハ市町村ニ、又其ノ年功加俸ニ付テハ之ヲ都道府縣ニソレバ、補助シテ參タノデアリマス、ソレヲ今回ハ、其ノ俸給、年功加俸及諸給與ノ中ヲ、都道府縣ノ負擔ニ移スコトニ相成ダタノデアリマス、斯様ニ致スノデアリマス、仍テ國民學校ノ例ニ倣シテ、是等ノ爲ニ都道府縣ニ於テ要スル經費ノ半額ヲ國庫ヨリ補助スルコトニ致ス、是ガ青年學校教育費國庫補助法ノ改正デアリマス、斯ク致シマスルト、公立學校職員年功加俸國庫補助法ノ中ヨリ、青年學校職員ヲ取除クコト、是ハ當然デアリマス、斯ク致シマスルト、公立學校職員年功加俸國庫補助法ノ中ヨリ、

垣ニ地方財政上ノ見地ヨリ企圖サレタルモノデアリマス、青年學校ノ教育ハ近時大ナル發達ヲ爲シ來リマシテ、其ノ數モ二萬ニ近ク、教職員モ二十餘萬、生徒ノ數モ數百萬、經費モ莫大、但シ之ニ對スル補助金モニ關スル質疑ハ、斯様ナ狀態デアルガ、更ニ必要トスル軍人ノ養成ノ如キハ、是ハ格別、一般子女ノ教育ハ親ノ資力ニ依ルヲ本體トシテ、親ノ資力ノ及バザルモノニ國家之ヲ援助スト云フ、建前ニ依リ、且彼ノ所謂頭腦ノ國家管理ト云フガ如キ嫌ヒヲ避ケタント云フコトヲモ考慮シタノデアル云々、以上ハ大日本育英會法案ニ付テノ質疑應答ノ大略デアリマスルガ、是ト併託セラレタ二法案中、從來職員ニ對スル諸給與中、俸給及年功加俸等ガ毎年豫算ノ範圍内ニ於一部ガ國庫ヨリ支出セラレタニ、其ノ俸給ニ付キマシテハ國庫ハ市町村ニ、又其ノ年功加俸ニ付テハ之ヲ都道府縣ニソレバ、補助シテ參タノデアリマス、ソレヲ今回ハ、其ノ俸給、年功加俸及諸給與ノ中ヲ、都道府縣ノ負擔ニ移スコトニ相成ダタノデアリマス、斯様ニ致スノデアリマス、仍テ國民學校ノ例ニ倣シテ、是等ノ爲ニ都道府縣ニ於テ要スル經費ノ半額ヲ國庫ヨリ補助スルコトニ致ス、是ガ青年學校教育費國庫補助法ノ改正デアリマス、斯ク致シマスルト、公立學校職員年功加俸國庫補助法ノ中ヨリ、青年學校職員ヲ取除クコト、是ハ當然デアリマス、斯ク致シマスルト、公立學校職員年功加俸國庫補助法ノ中ヨリ、

活用、病院ノ宿舎トシテノ利用、勧勞學徒ノ取扱ノ統一、思想善導對策、思想善導ニ對スル統一機關ノ設置、偉人烈士ノ顯揚、神社ノ修築、行過ギタル文化運動等、何レモ熱心ナル質疑ニ對シテ、又懇篤ナル答辯ガアリマシタ、以上ノ外ニ大東亞共榮圈内ノ内地留學生ニ對スル教育ニ付キマシテハ、特ニ大東亞省當局ノ出席ヲモ求メ、又適切ナル質疑應答ガ行ハレマシタ、以上多數ノ質疑、希望ニ對シテ、當局亦大方ハ諒解、了承セラレタノデアリマス、斯クシテ前後四日ニ瓦ル慎重ナル審議ノ末、一昨日午後型ノ如クニ討論ニ入リマシタ、三委員ヨリ次ノヤウナ贊成意見ノ開陳ガゴザイマシタ、其ノ一、凡ソ本事業ハ元社會的事業トシテ考ヘラレ、又出發モシ、經營モセラレツタモノデアリマスガ、今日ニ至ツテハ全ク世間一般ノ要求スル所トナツタモノデアリマス、本法案中ニハ、或ハ更ニ検討スペキモノアリトモ思考セラレマスルガ、本會ノ事業、貸費制度、本會ノ事業ハ極メテ重要ナルヲ認メ、而シテ又努メテ精神的指導ヲ以テ之ニ臨マル、ト云フコトデアルノデ、之ニ依テ獎學生ヲ自肅然奮セシムルコトモ出來、國家ノ爲ニ大慶ノコトト存ズルガ故ニ、茲ニ當局ノ措置ニ信頼ヲ置イテ贊成スル、其ノ二、本會ノ重要性ニ鑑ミ、定款作成ノ場合ニハ本委員會ノ意図ヲ酌ミ、及ビ時局ノ見透シヲモ吟味シテ慎重ニ考慮セラレタク、又本會ノ運營如何ハ、即チ本法ノ死活ヲ左右スルモノデアルカラ此ノ點モ注意サルベク、尙從來ノ例ヲ見ルト、往々ニシテ理事者ノ或者ガ先づ所謂橋頭堡ヲ作ッテ、之ニ依ツテ爲ス所アラムトスルガ如キ事例ガアル、依ツテ理事者ノ選任ノ如キモ一層慎重ニセラレタキモノデアル、其ノ三、本委員會ニ於ケル委員諸君ノ發言ハ、何レモ重要ニシテ且熱心ナモノデアツタ、當局ハ十分ニ之ヲ尊重セラレ、文政ノ參考ニシ、又計畫ニ

取入レ、著々實行セラレタイモノデアル、
惟ニ文政ノ要諦ハ、國民思想ノ堅實ヲ求
メ、且教育者ノ魂ヲ振起セシムルニ在ル、
是等ノコトハ今日ノ機會程急フ要スルモノ
ハナイ、尙文相トシテハ、情勢ニ即シ、平
時ニ於テハ豫想シ得ザリシモノニ對シテモ、
尙且早急ニ施設セザルヲ得ザルコトモアル
デアラウ、其ノ御困難ハ御察シ申スニ餘リ
アルガ、斯ウ云フコトニ對シテハ周到且實
際的ノ考究ヲ加ヘラレ、尙積極的ノ指導ヲ
吝シマレザラムコトヲ望ム、尙本事業ノ國
家經營ト云フコトニ付テモ一段ノ御考究ヲ
顧ヒタキ、斯様ナ希望意見ガアリマシタ、
斯ク致シマシテ、結局出席者一致ヲ以テ三
法案共可決スペキモノト決定致シタノデア
リマス、是ニテ御報告ヲ終リマス
○議長(伯爵松平頼壽君) 別ニ御發言モナ
ケレバ、三案ノ採決ヲ致シマス、三案ノ第
二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌ
シ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ各案ノ第二讀
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵鮎村家治君 賛成

○議長(伯爵松平頼壽君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異議ハゴサマイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 三案ノ第二讀會
ヲ開キマス、御異議ガナケレバ、全部ヲ問
題ニ供シマス、三案全部、委員長ノ報告通
リデ御異議ハゴサマイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス

○子爵西大路吉光君（直チニ各案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス）

○子爵頼村家治君（贊成）

○議長（伯爵松平頼壽君）（西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴサマイマセヌカ）

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（伯爵松平頼壽君）（御異議ナイト認メマス）

○議長（伯爵松平頼壽君）（三案ノ第三讀會ヲ開キマス、三案全部、第一讀會ノ決議通リデ御異議ハゴザイマセヌカ）

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（伯爵松平頼壽君）（御異議ナイト認メマス）

○議長（伯爵松平頼壽君）（日程第十一、戰時特殊損害保險法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長東郷男爵）

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和十九年二月四日

委員長 男爵東郷
貴族院議長伯爵松平頼壽殿

安

（甲爵東郷安君演壇ニ登ル）

○男爵東郷安君（只今議題トナリマシタ戰時特殊損害保險法案ニ關シマスル特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ガマス、本委員會ハ五回ニ亘ツテ慎重審議ヲ致シマシタ結果、原案ヲ可決スベキモノト決定致シマシタ、今其ノ法案ノ内容ト審議ノ經過ニ付キマシテ簡単ニ御報告申上ガマス、本法案ハ、現行ノ戰爭保險制度ヲ擴充致シマスト共ニ、新タニ戰時ニ於ケル地農保險制度ヲ設定セムトスルモノニアリマス、今日ノ如キ大規模ナ戰爭遂行途上ニ於キマンシテ、空襲其ノ他ノ戰闘行為又ハ地震ノ如キ、其

ノ被害ガ相當廣汎且甚大ナモノガアルト豫想セラレル場合ニ於キマシテ、豫メ國家ノ經濟秩序ノ維持ト國民生活ノ安定トヲ確保スル爲ニ、是等必要ナル施設ヲ爲スコトハ、誠ニ緊要ノ要務デアルノデアリマス、而シテ現ニ戰爭保險臨時措置法ニ依シテ戰爭保險制度ハ行ハレテ居ルノデアリマスケレドモ、今日迄ノ實績ヲ見マスルト、其ノ普及ガ甚グ思ハシクナインデアリマス、ソコデ即チ或特定ノ地域ヲ限ッテ、特ニ其ノ方面ニ本震等ノ危險ガ多イ場合ニ於キマシテハ、契約ト同時ニ自動的ニ契約ガ成立スルヤウニ致シマシテ、又或場合ニ於キマシテハ、即チ或特定ノ地域ヲ限ッテ、特ニ其ノ方面ニ本震等ノ危險ガ多イ場合ニ於キマシテハ、政府ガ強制的ニ契約ヲ締結ヲ命ジ得ル方法ヲモ講ジテアルノデアリマス、而シテ其ノ保険率モ、今回ハ出來ルダケ低率ト致シマシタ結果、現行ノ料率ニ對シテ大幅ノ引下ゲフ致スコト相成テ居リマス、一方今回新タニ設定セラレマスル地震保險ハ、若シ此ノ戰時中ニ大キナ地震ガ起リマシテ經濟世界ニ大混亂ヲ生ジ、延イテ國民生活ノ動搖ヲ來シ、民心ノ安定ヲ失フガ如キコトガアリマスナラバ、是ハ國家トシテ由々シキ大事デアリマスルカラ、豫メ萬全ノ對策ヲ講じテ置キ必要ガアルノデアリマス、而シテ是ハ戰時中ノ特別ノ國家的ノ措置ト致シマシテ、戰時中發生致シマシタル地震ニ因ル火災、損壊等ヲ各保險事故トスル特殊ノ損害保險ノ制度ト考ヘラレテ居ルノデアリマス、而シテ此ノ兩種ノ保險共、之ヲ普通ノ一般損害保險會社ノ業務トシテ行ハシメマスルケレドモ、此ノ保險ノ簡易且迅速ナル普及ヲ圖リマスル爲ニ、先程モ申シマシタル如ク、戰爭保險ニ付キマシテハ、空襲等ノ危險ガ特ニ大ナリト豫想セラル、地域ニ於テ、又地震保險ニ付テハ内地一圓ニ瓦リマシテ火災保險等ニ附帶シテ自動的ニ成立セシムルコト致シ、又別ニ公益上ノ必要ガアリト

認メラレマスル場合ニ於キマシテハ、本保険ニ加入スルコトヲ政府ニ於テ強制シ得ルト云
ニ規定ヲモ設ケテアリマス、以上ガ本案ノ大體ノ構想デゴザイマス、扱之ニ對シマシテ、誠ニソレハ御尤モナ御考ト思ヒマス、實ハソレニ付テハ段々研究モ致シテ見マシタ、併シ事實地震ヲ保険ニ取入レルコトヨリモ、技術的ニハ相當困難リマス、之ニ答ヘマシテ、誠ニソレハ御尤モキマシテハ、比較的事故ノ起ル地域ガ、局部的ニ偏在シテ居ルト云フ關係モアリマス、又或程度ニアルコトモアル、又愈、風水害ノ損害ガ起ツタ場合ニ、之ガ査定ヲ如何ニスルカ、其ノ保険金額ノ決メ方モドウスルカ、ト云フヤウ迄ハ損害ノ發生ヲ豫知シ得ルヤウナ狀態ニ付テハ、一定ノ計算ニ基イタ保険料ノ收入デヘ得ラレルノデアルカドウカ、ソレニ對スガアルヤウニ認メラレマス、即チ風水害ニ於偏テ居ルト云フ關係モアリマス、又或程度ニアルコトモアル、又愈、風水害ノ損害ガ起ツタ場合ニ、之ガ査定ヲ如何ニスルカ、其ノ保険金額ノ決メ方モドウスルカ、ト云フヤウナ問題ニ付テ相當困難ガアリ、又此ノ點ニ付テハモウ少シ研究ノ歩ヲ進メテ見ル必要ガアルカラ、今度ノ法案ノ中ニハ採り入レナカッタノダト、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、ソコデ次ニ、ソレナラ其ノ物ニ關スル保険制度ヲ、左程迄ニ手厚ク豫メ國家ノ施策トシテ御定メナル、ナラバ、何故生命ニ付テ今少シク御保護ノ施策ヲ爲サラナイノカ、即チ保険制度設定ヲ爲サラナインオデアルカ、ト云フ質問が出来タノデアリマス、之ニ對シマシテ、誠ニ御指摘ノ點ハ御尤モデアルト思フ、既ニ此ノ戰爭ニ因ル死亡傷害ニ付キマシテハ、戰時灾害保護法、防空從事者扶助令ニ依ル給與及ビ軍人等ノ戰死傷ニ對スル給與制度等ノ國家制度ガ備ツテ居ルノミナラズ、普通生命保険金及び簡易生命保険金ノ支拂モ行ハレテ居ル狀況デアルカラ、目下ノ所、戰爭死亡傷害保険ヲ製スルコトハシナイ積リデアル、即チ國民ノ時局ニ對スル認識ヲ基礎トシテ、今後益々普及宣傳ノ方法ニ依ツテ目的ヲ達セムトスル積リデアル、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、ソコデソレナラバ、サウ云フ國家ノ大損害ノ場合ニ於テ、政府即チ國庫ガ大イナル負擔ヲ爲スヤウナコトヲ想像セラレルガ、財政上果シテサウ云フコトガ國家トシテ堪へ得ラレルノデアルカドウカ、ソレニ對スル御考ハ如何デアルカ、ト云フ質問ニ對シマシテ、元來保険ノ經營ハ、純理論方ラ言ヘバ、一圓程度ヲ考へ、地震保険料ニ付保険金ガ賄ハレベキ計畫ノ下ニ行ハレルガ當然デアル、併シ此ノ種ノ特殊ノ保険ニ付テハ、危險率ノ算定ハ殆ド不可能ニ屬スル、即チ今日ニ於テハ政府ニ於テ豫定シテ居ル所ハ、保険料金ト云フモノハ年額千圓ニ付テ僅カニ二圓程度ヲ考へ、地盤保険料ニ付テハ年額五十錢程度ノコトヲ考ヘテ居ルニ過ギナイ、ホンノ是ハ客觀的嘗識的ナ考ヘ方ニ過ギナイノデアル、従ツテ若シ現實ニ大キナ損害ガ發生シタ場合ニハ、到底ソレ迄ニ政府ガ收入シ得タ保険料金ヲ以テシテ莫大ナル支出ヲ賄ヒ得ルモノトハ考ヘテ居ネイ、ソコデ所謂寶質上ニ於テハ此ノ保険ハ眞ニ國家性ヲ持ツテ居ルモノノデアル、準國營ニスルノモ亦此ノ所ニ基イテ居ル次第デアル、従ツテ此ノ種ノ特殊ノ戰時保険ノ粗ヒ所ハ、戰時中ニ於テ斯ウ云フ災害ガ起ツタ場合ニ於テハ、ドウシテモ經濟ノ秩序ヲ維持スルトカ、民政ノ保護安定ヲ期スルトカ、銃後民心ノ動搖ヲ防クトカ云フ國家目的ヲ充タスヨリ外ニ方法ハナイト思フ、併シナガラ若シ現實ニハ、一時ニ左様ナ災害ノ場合ニ於テ、巨額ノ保険金ヲ國庫ヨリ支拂フ場合ニ於テハ、又一面ニ於テ注意ヲ要スル點ガアラウカト想像シテ居ル、即チ其ノ事自體ガ、又他面國家經濟ノ秩序ヲ紊シ、財界ヲ混亂セシムル原因トナル虞ガアルノデ、左様ナ場合ニ於ゲル保険金ノ支拂ハ凡ソ三千圓程度ニ止メテ、其レ以上ハ適當ナ限度ニ於テ特殊決済ノ方法ヲ以テ封鎖スルコトヲ考ヘ

○子會田大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵龜村家治君 賛成

○議長(伯爵松平頼壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ハ「ゴザイマセヌカ」「異議ナシ」と呼フ者アリ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認可

○議長(伯爵松平頼義君) 本案ノ第二讀會
ヲ開キマス、御異議ガナケレバ、全部ヲ問
題ニ供シマス、本案全部、委員長ノ報告通
リテ御異議ハゴザイマセスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(伯爵松平頼義君) 御異議ナイト認
メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本家ノ第二譲
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス
○子爵植村家治君 賛成
○議長 伯爵松平頼義君 西大路子爵ノ動
議ニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長 伯爵松平頼義君 御異議ナイト認
メマス

○議長(佐藤松平議長) 異議ナイト認メ
マス

テ居ル、決シテ「インフレ」其ノ他憂ヲナカラシムル積リデアル、斯ウ云フヤウナ御答辯デアリマシタ、斯クシテ委員會ハ質疑ヲ終ヘマシテ、討論ニ入りマンタ處ガ、何等ノ御意見モザイマセヌ、直チニ採決ニ入リマシテ、全會一致ヲ以チマシテ本案ヲ可決致シマシタ、右御報告申上ゲマス○議長伯爵松平頼春君別ニ御發言ガナケレバ、本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌ二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌ

○議長(伯爵松平頼宣君) 次會ノ議事日程
ハ、決定次第彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、
本日ハ是ニテ散會致シマス
午後三時十八分散會